

講師プロフィールと講義内容詳細

第1回



すわ としあき 川崎医療福祉大学医療福祉学科 准教授
諏訪 利明氏 TEACCH®公認上級コンサルタント

1986年上智大学大学院心理コース修了。社会福祉法人県央福祉会県央療育センター、海老名市立わかば学園を経て、2012年4月より現職。大学では、授業はもちろん、増えている発達障害学生の面談、地域の保育園や学校、事業所へのコンサルテーションや研修を行っている。公認心理師。

ASDの人と関わる時には、彼らの「違い」をまず理解することが重要。彼らが学ぶべきことはそれこそいろいろあるだろうけれど、その前に、周囲が彼らの「学び方」を知って、彼らに納得いくように、ちゃんと教えられるようになることが先。そのヒントとなる「学習スタイル」について講義します。

第2回



よしだ ゆうこ 千代田クリニック院長 iPEC所長
吉田 友子氏

1985年東京慈恵会医科大学卒業。横浜市総合リハビリテーションセンター、横浜市北部地域療育センター、よこはま発達クリニック等を経て、2020年3月千代田クリニック開業。2005年2月iPECを設立し自己理解支援に関する臨床・啓発や複数大学での大学生面談を担当。

ASDの人たちは、知的困難の有無に関わらず、自分に関する心理学的医学情報を知る権利があります。ただし教科書的な知識の一方的な通告では、彼らは情報を有効活用できず、自己否定や支援拒否などの辛い状況に追い込まれる危険すらあります。説明という支援を安全に行うために心掛けていることを共有します。

第3回



たかまつ こうしょう NPO法人江朋会理事長 就労移行支援
高松 光照氏 事業所ジョブリード サービス管理責任者

愛知学院大学大学院文学研究科博士課程後期修了。高等学校教諭（社会科）、就労継続B型事業所支援員、滋賀県発達障害者支援センター成人・就労支援員、就労移行支援事業所ジョブリード副所長（サービス管理責任者）

ASDの人たちが、就労に向けてのトレーニング（就労移行支援）を通して、「社会に適応する力」をどのように身に付けていかれているのかを、実践例を通してお話しさせていただきます。

主催
お問合せ



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

<https://npotanpopo.jimdofree.com/>



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽは「自閉スペクトラム症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で生き生きと暮らせる滋賀」を目指して1996年より活動しています。自閉スペクトラム症の正しい知識の啓発や適切な療育の提供に関するさまざまな事業を行っています。